



公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会



公益財団法人

東京しごと財団

Tokyo Foundation for Employment Services

団体課題別人材力支援事業
ビルメンテナンス業界

平成29-30年度
取組好事例集



Tokyo Building Maintenance Association

（人が集まる会社、離職者を出さない会社へ コンサルティングを経てやるべきことが明確に）

採用力の強化と定着率のさらなる向上が課題

東京都、および近県で建物設備の管理事業を展開しているエス・ビー・エス株式会社。電気、空調、給排水、エレベーター、ボイラーなど、さまざまな設備の常駐メンテナンスが得意だという同社に、まず支援事業に参加した理由から聞きました。

「新規の仕事を引き受けたときなど、短期間のうちに人を採用しなくてはならないケースも多いのですが、求人してもなかなか応募がなく、困ることが増えてきました。当社では中途採用が中心になっていますが、募集する時期などにより応募状況にはずいぶんと波があるので、採用力の強化と、そして人の定着率をもっと向上させたいと思い、この事業への参加を決めました」

人事部長として求人活動の指揮をとる、常務取締役の土屋秀樹さんがこう話してくれました。



右から三輪さん、土屋さん、安藤さん

効果的な求人情報作成のノウハウを獲得

コンサルティングでは、採用力の強化に向けて求人情報の記述を見直すことが提案され、それを早速実践しています。

「『ハローワークでも求人サイトでも、求職者を惹きつけるにはポイントがありますよ』と、まず指摘を受けました。数多くある求人情報の中で埋没しないためにも、求職者が知りたい情報や強調すべき事柄が何なのかを丁寧に整理し、それをわかりやすいワードで表現すること

が大切だと教わりました。『採用チャネル全体の情報の統一感も欠かせない』というアドバイスも私たちが見落としていた視点だと気づき、やってみることにしたのです」と経営企画部長で専務取締役の三輪直樹さんが明かしてくれました。実際に、ハローワークの求人票や今回の支援事業で開設された業界 PR サイト、そして自社の採用ホームページなど、掲載する原稿にアドバイスを取り入れた結果、応募が増えているとのこと。

採用情報の作成や発信を担っている総務部の安藤信弘さんは次のように話してくれました。

「コンサルタントから、『ハローワークの求人検索パソコンでは会社の写真や特長を画像で公開することができ、イメージアップにもつながるので、是非登録画像を作成すべき』との提案がありました」

安藤さんはコンサルタントにも相談しながら画像をつくったといいます。

「和気あいあいとした雰囲気の写真を選びました。ハローワークの担当者が丁寧に話を聞いてくれて、『新宿わかものハローワーク』に注目求人として貼りだしてもらうことができました」（安藤さん）

「採用面接で転職理由を聞くと、勤めていた会社の雰囲気が悪かったと打ち明ける人も多いので、会社のイメージは大切だと思います。地味なイメージもある業界なので、明るい写真を見てもらい、特に若い人たちの気持ちが動くことを期待したいですね」（三輪さん）



登録画像は和気あいあいとした雰囲気をアピール

従業員満足度調査が会社の一体感醸成に寄与

離職者を減らしたいという課題では、長く働いてもらうための職場環境づくりにも取り組みたいけれど、何かから手をつけるべきかわからなかったといいます。こうした相談に対してはコンサルタントが、従業員満足度調査の実施を提案。コンサルタントのアドバイスも受けながら社内で質問項目をつくり、全従業員を対象に調査を行っていました。

「当社の従業員の定着率は90%以上で、安心して働ける会社だという自負はあるのですが、さらに働きやすい環境をつくって離職者を極力出さないことを目標にしています」（土屋さん）

「従業員満足度調査の結果から、各地に点在する現場間で、互いにどういったスタッフが働いているのか知る機会が少ないとの声が多くあることがわかりました。会社の一体感醸成は大切なテーマなので、結果を受けてすぐに、スタッフの顔写真と名前をクラウドにアップすることを始めています。ほかにも、懇親の場づくりや表彰制度の拡充など、従業員のモチベーションアップにつながることは、どんどん進めていきたいと考えています」（三輪さん）

重視しているのはやる気と柔軟性

求める人材について尋ねました。

「未経験者は大歓迎です。専門スキルを備えているに越したことはありませんが、実践的な専門スキルはOJTで身につけることができます。採用面接で重視しているのは、やる気とともに、人柄や柔軟性です。昔は職人気質でぶっきらぼうなタイプも多い業界でしたが、それでは通用しない時代になっています」（三輪さん）

「現場では突発的な機器類のトラブルや水漏れなど、お客様から直接依頼が舞い込むことも多く、そうした時にきちんとしたコミュニケーションができる人を求めています。当社は商業施設の常駐管理が多く、お客様が接

客のプロだということもありますね。コンサルタントのアドバイスに従い、いい人に出会ったら時間を空けず、速やかに面接の結果を伝えるようにしています」（土屋さん）

最後に、今後の抱負を聞きました。

「今年、当社は50周年を迎えます。これからは商業施設だけでなく、オフィス、ホテル、物流施設の設備管理や、さらにCO2削減に向けた省エネチューニングなど、事業の領域を広げていきたいと考えています。そのためには、お客様への提案力など、新しい能力も必要になります。今回の支援事業で学んだことを生かして、会社と一緒に成長してくれる人材の獲得や、人を育てる研修会、勉強会の開催など、社内の環境整備にも取り組んでいきます」（三輪さん）



50周年を迎え、これからも全社員で頑張っていきます！